



## 横浜銀行 ロンドン駐在員事務所

週間トピックス(2017.12.29)

### 英国で導入進むセルフレジ

- 英国のスーパーでは、顧客がセルフレジ（英国では「セルフチェックアウト」と呼ばれています）に商品のバーコードを読み取らせ、精算もおこなうスタイルが一般的です。
- 日本でも一部スーパーでセルフレジが導入され始め、コンビニ「ミニストップ」ではセミセルフレジを本格導入する計画が報道されました。
- セルフレジのメリット・デメリットはありますが、人手不足解消、生産性向上のための有効な選択肢であると考えられます。

#### 1. 英国のスーパーのセルフレジ

- 英国のスーパーでは、セルフレジが浸透しており、セルフレジで買い物をするのが一般的になっています。一度使い方を覚えれば、非常に便利で効率的な手段です。
- アルコール類、煙草等の販売の際には店員が未成年でない事を確認しますが、大半の買い物は店員を介さずに終わることが出来ます。そのため、レジの店員は最低限の人数で、商品の陳列などの作業に当たっています。

【英国最大手のスーパー「TESCO」のセルフレジ】



#### 2. 日本のセルフレジの導入状況

- 日本でも徐々にセルフレジが普及し始めていますが、現在のところその多くは「セルフ精算レジ」、つまり商品のバーコードをスキャンするまでは店員が行い、精算を顧客自身が行うものです。
- 一般社団法人 日本スーパーマーケット協会の調べ（平成 29 年 スーパーマーケット年次統計調査報告書）

では、セルフレジの設置率は16.5%、セルフ精算レジで42.1%、今後セルフ精算レジの設置を拡大したいと回答した企業は全体の49.8%とほぼ半数を占めています。

### 3. セルフレジのメリット・デメリット

- ▶ 顧客のメリットとしては何より、レジの待ち時間短縮が図られます。スーパーはレジ担当スタッフを削減することで効率化が期待できます。
- ▶ 一方で、デメリットとしては、セルフレジの操作ミスや故障により、かえって時間を費やすこともあり、英国のある調査会社は、セルフレジでも大した時間の節約にならないとの声が多数を占めると伝えています。
- ▶ また、スーパー側にとって最も懸念されるのは、万引き防止でしょう。ある英国のレポートでは、英国、米国、ベルギー、オランダの4カ国のスーパー8店舗にてセルフレジの統計調査をしたところ、4%の商品がスキャンされず、万引きの疑いがあったとしています。

### 4. まとめ

- ▶ 店員が商品のスキャンまで行うセルフ精算レジがメリット・デメリットを考えた上で最も現実的な選択肢と言えるのではないのでしょうか。
- ▶ メリット・デメリットはあるセルフレジですが、日本の深刻な人手不足への対応策、生産性向上として、セルフ精算レジは今後ますます普及していくものと思われます。

以上

本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。  
ご利用に関しては、すべてお客さま自身でご判断くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。  
本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。  
本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。  
本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。